

加齢と老化・リハビリテーション

Aging, Senescence and Rehabilitation

ユニット責任者：脳神経内科 教授 長谷川 泰弘

ブロック名		期間	ブロック責任者
第1ブロック	加齢と老化	1月6日 ~ 1月9日	長谷川 泰弘

1. ユニット概要・学習内容

加齢、老化、リハビリテーションというキーワードで健康、疾病に関する諸問題とその対応について学ぶ。したがってその内容は各診療科横断的で、臓器別系統講義にはない幅広いものとなっており、ヒトの一生、障害を持つ人への対応や支援などを含めた包括的なとらえ方を学ぶ。医療、介護、福祉に係る法令についても学ぶ。

2. 到達目標

- 1) 加齢にともなう生理機能の変化、高齢者の疾患の特徴を概説できる。
- 2) 高齢者の介護、在宅医療、高齢者のターミナルケアを概説できる。
- 3) リハビリテーションの概念・適応を理解し、代表的疾患のリハビリテーションを概説できる。

3. 学習上の注意点

高齢者の病態の特徴、高齢者をとりまく療養環境の現状と問題点を理解し、障害のある人たちが立ち直り「再び人間らしく生きる」こと、すなわち「全人間的復権」のために、どのようなアプローチができるのかを学ぶ。

4. 教科書・参考書

『老年医学テキスト』社団法人「日本老年医学会」編

発行所：株式会社メディカルビュー社

(書評) 老年病専門医向けに書かれているが、医学生の教科書としても有用。

『老年病のとらえかた』大内尉義 編 発行所：文光堂

(書評) 臨床に即した記載となっている。

『狭心症・心筋梗塞のリハビリテーション改訂第3版』木全心一、斉藤宗靖 編著

(南江堂)

『脳卒中治療ガイドライン 2015』日本脳卒中学会 脳卒中ガイドライン委員会編集
(協和企画)(書評)ガイドラインではあるが脳卒中のリハビリテーションについての
記載が豊富である。

『標準整形外科学 (第 12 版)』松野文夫, 中村利孝 (医学書院)

『標準リハビリテーション医学 (第 3 版)』上田敏 (医学書院)
(書評)リハビリテーションの実際がわかりやすく記載されている。

5. 成績評価

評価項目	実施回数	評価割合	備考
定期試験	1	90 (%)	
授業態度		10 (%)	出席状況、学習状況の評価する。

当ユニットでは学年末再試験を実施する

6. オフィスアワー

所属	役職	氏名	時間	場所	連絡先
内科学(脳神 経内科)	教授	長谷川 泰弘	火・金曜日 9時~17時	医学部本館 1階内科医局	内線 3150 mail:shinnai
整形外科学	教授	仁木 久照	火曜日 16時~17時	医学部本館 4階整形外科医局	内線 3433

メールアドレスは @marianna-u.ac.jp が省略